



奈良県立医科大学

発表日：平成24年12月19日

「平成24年度 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会賞」の受賞について

本学内科学第二講座吉川雅則准教授の研究業績が、平成24年度日本呼吸ケア・リハビリテーション学会賞に選ばれ、平成24年11月23日～24日に福井市で開催された第22回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会において表彰及び受賞講演が行われました。

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会賞は、標記学会領域への貢献が大であるすぐれた業績に対して授与されるものです。

受賞の対象となった吉川准教授の研究業績の概要は、以下のとおりです。



表彰を受ける吉川准教授（写真左）

業績題目

「慢性閉塞性肺疾患における栄養障害の病態と対策」

内 容

慢性閉塞性肺疾患（COPD）が全身性疾患であることに着目し、栄養障害が高頻度に併存することや“pulmonary cachexia”とも言われる栄養障害の特徴を明らかにした。

また、体重減少に伴う骨塩量や脂肪量、除脂肪量などの体成分の変化がCOPDの病態と密接に関連することを示し、栄養障害の発症機序についても呼吸筋酸素消費量の増大に基づく代謝亢進や全身性炎症、摂食調節因子や内分泌ホルモンの変化などの複合的要因が関与することを明らかにした。さらに、グレリンやアディポサイトカインの分泌動態と栄養障害や病態との関連を解明した。これらの結果を踏まえて、COPD患者に対する栄養治療のアルゴリズムを提唱した。

新規治療としてグレリンの蛋白同化作用、抗炎症作用、摂食促進作用などを応用し、呼吸リハビリテーションとグレリン投与の併用効果についても多施設共同二重盲検比較試験にてその有効性を検証した。

受賞者のコメント

このたび名誉ある学会賞を受賞できましたことは大きな喜びであり、ご指導頂いた木村 弘教授はじめ多くの教室の先生方のご協力に深く感謝致します。これまで先進的かつ継続的に行ってきたCOPDの栄養障害の病態解析やその対策に関する研究は、呼吸リハビリテーションにおける新たな領域の確立に寄与したと考えております。今回の賞はその業績を評価して頂いたと同時に、当該領域における研究のさらなる発展を期待されて与えられたものと考えております。今後も、COPDの包括的呼吸ケアにおける栄養管理の確立に向けて研究を継続して行く所存です。

所属長のコメント

吉川雅則准教授は長らく『COPD と栄養』の問題に関わっており、COPD にみられる体重減少のメカニズムは筋蛋白量減少がその基本病態であることを明らかにしました。COPD は、高率に体重減少、骨粗鬆症、心循環器疾患などの併存症を伴うことから、近年になり COPD は栄養問題を有するのみならず、全身性疾患であることが明らかになりました。その研究の発展のなかで、当科 COPD グループは多施設共同研究として、COPD の全身性炎症の病態に基づいたグレリンによる治療戦略を世界に先駆けて提唱しました (PLoS One, 2012) 。COPD 対策は国が策定した「健康日本 21」の次期 10 年計画として、2013 年からは、癌、循環器疾患、糖尿病と並んで取り上げられます。高齢化社会をむかえ、COPD に対する包括的リハビリテーションの重要性が益々高まるなかで、奈良発信の全身性炎症対策、栄養対策の研究がさらに発展することを期待する次第です。

内科学第二講座教授 木村 弘

吉川准教授の略歴

平成 24 年 12 月現在

よしかわ まさのり	
吉川 雅則 (54 歳) 奈良県立医科大学 内科学第二講座 准教授	
昭和 59 年 3 月	奈良県立医科大学 卒業
昭和 63 年 3 月	奈良県立医科大学大学院医学研究科(第二内科学)修了
昭和 63 年 7 月	吉野町立病院 内科医員
平成 4 年 4 月	吉野町立病院 内科医長
平成 6 年 3 月	奈良県立医科大学内科学第二講座 助手
平成 15 年 1 月	奈良県立医科大学内科学第二講座 学内講師
平成 16 年 1 月	奈良県立医科大学内科学第二講座 講師
平成 20 年 7 月	奈良県立医科大学内科学第二講座 准教授
	現在に至る
昭和 59 年 6 月	医師免許
平成 63 年 3 月	医学博士